

5年生「手品師」 内容項目 - 正直, 誠実

【あらすじ】

売れない手品師が母の帰りを待つ男の子に手品を披露し、明日も来ると約束した。その夜、大劇場の誘いがあったが断り、手品師は男の子との約束を守った。

【1組の授業から】

導入部分で「夢が叶うチャンスと友達との約束のどちらを優先するか」について考えたところ、子どもたちの意見は、チャンスと約束に分かれました。その後、待っている子どもと手品師双方の気持ちについて考えたが、結果として、ほとんどの子どもが約束を守る方が大切と考えるようになりました。この学習を通し、子どもたちはすぐに結論が出ないで悩む状況になっても、自分で考え、自分なりの結論を出したいと考えるようになりました。自分自身がしっかり悩み、その結果決めた結論に向けて行動することが、正直で誠実な行動になると考えることができました。

自分だったらどうするか考えました

【1組の学習感想】

- ・迷ったときは、自分がどうしたらよいかしっかり考えていきたい。
- ・相手を幸せにする気持ちを忘れずに、行動していきたいと思う。
- ・どんなときも、信頼を失わないような行動をしていきたい。
- ・お金には換えられない、大切なものがあることがわかった。手品師の夢は叶わなかったが、大切なものを手に入れたと思った。



【2組の授業から】

授業の導入部分で「夢が叶うチャンスと友達との約束のどちらを優先するか」について考え、今の自分を見つめ直しました。その後、手品師の迷いの場面に焦点をあて、夢の大劇場と男の子との約束のどちらも大切で、実現したいものであるという正直な気持ちを確認しました。手品師の気持ちに寄り添えば寄り添うほど、迷いがより大きくなり、簡単に選ぶことができなくなる気持ちの迷いについて知ることができました。どんな結論を出しても、正直に、誠実に向き合えば幸せになれるはずだという考えを通して、これから迷うときがきたら、何を大切に生きていきたいかについて考えを深めることができました。



一人一人が自分と向き合います

【2組の学習感想】

- ・自分を支えてくれる家族や友達、先生に恩返しができる選択をしていきたいと思う。自分が夢を叶えることで、みんなを笑顔にすることもできるかもしれない。
- ・自分の意志で選択していくが、周囲の意見も同じように大切にしていきたい。
- ・いろいろな選択肢があって良いと思うけど、自分もみんなも幸せになれる選択をしていきたい。
- ・これからどんな迷いがあるかわからないけど、人を大切にしたい。